

## Lesson 5 可算名詞の「単数形」

英語の「可算名詞」には、『単数形(物が1つの時)』と『複数形(物が2つ以上の時)』とで名詞の形が変わるという特徴があります。例えば「ペンが1本ある」と言いたい時と、「ペンが2本ある」と言いたい時では「ペン」という名詞の形が少し変わります。また、単数形の場合「大きな」や「高価な」といった『形容詞』や「私の」「彼の」といった『所有格』がについても形が変わることがあります。

=====  
【ポイント】

- ・可算名詞には、**単数形・複数形**があり、形が変わる。
  - ・単数形の場合「**形容詞**」「**所有格**」がについても形が変わることがあるので注意。
- =====

### <単数形 = 名詞の前に a または an を足す>

#### 【 a を足す場合】

- ・**単語の最初の音** (つづりではない) が「a, i, u, e, o 以外 (子音)」

<例> (1本の)ペン = a pen

(1校の)大学 = a university

<\*university は、u から始まるが音が「子音」なので a になる>

#### 【 an を足す場合】

- ・**単語の最初の音** (つづりではない) が「a, i, u, e, o (母音)」

<例> (1本の)傘 = an umbrella (a umbrella = ×)

1時間 = an \*hour (a hour = ×)

<\*hour は、h から始まるが音が「母音」なので an になる>

#### 【単数形の名詞に形容詞を足す場合の形 (a/an + 形容詞 + 名詞)】

- ・単数形の名詞に形容詞をつける場合の形 = **a/an + 形容詞 + 名詞**
- ・a/an を足すルールは、**形容詞の最初の音**で決まる。

(a) 形容詞の最初の音が「子音」 = a

(b) 形容詞の最初の音が「母音」 = an

<例> 小さな机 → a small desk

年寄りの先生 → an old teacher

【「所有格 (my/your/his など)」や「this/that(この/あの)」が付く場合】

・基本の形：所有格 (+形容詞) +名詞 (a/an は消える)

**this/that (+形容詞) +名詞** (a/an は消える)

<例> 私の鉛筆 → my pencil (my a pencil = ×)

この古い本 → this old book (this an old book = ×)